

# Kunikazu Ishii

愛で溢れる美しく活力ある郷土づくり

東北と  
県政の絆を!

## 県北地域の発展なくして 茨城県の発展なし

2025年の新春を迎え心よりお慶び申し上げます。

日頃は皆様方に「愛で溢れる美しく活力ある郷土づくり」にご指導とご支援を賜っておりますことに、改めて心より感謝申し上げます。

石井邦一も初当選以来、皆様との絆によりお育てをいただき18年が経過いたしました。この間も、初心を大切に皆様方の代弁者として全力で県北振興に取り組んで参りました。

昨年を振り返りますと、元旦に発生した能登半島地震で幕が上がり、その後も能登半島豪雨災害など全国各地で自然災害が発生するなど、自然災害の激甚化・頻発化が深刻化すると共に、世界情勢の影響により原油価格・物価の高騰など、国民の生活に負担が生じ対応が求められた年でもありました。

その一方、身近では令和元年の水害から復旧された大子町衛生センターの竣工、JR水郡線全線開通90周年、常陸太田市市政執行70周年・合併20周年など慶事があると共に、民間調査機関による議会改革度ランキングにおいて、石井邦一が議長として議会改革に取り組んだ2023年の改革度評価も、都道府県議会部門で茨城県議会が1位となり、3年連続の1位と大変嬉しい報告もありました。

そして、茨城県議会においては議長経験者として議会運営をサポートすると共に、2024年問題が深刻化する中で、石井邦一が委員長を務めた交通政策・物流問題調査特別委員会において、持続可能な茨城県づくりに向けて県内外の2回の現地調査や、関係団体や学生など有識者をお招きし意見聴取などを実施し活発に議論を行い、県執行部への提言書と、国への意見書をまとめました。



2月16日  
常陸太田市自動運転EVバス出発式にて意見交換



2月17日  
大子町衛生センター竣工式典にて意見交換

## 石井 邦一の 挑戦は続く

また、石井邦一が全国都道府県議会議長会で2023年12月1日～2024年2月22日まで副座長を務めた「多様な人材が輝く議会のための懇談会」において「多様な人材が輝く議会のための17の提言」をまとめ、各都道府県議会にお届けいたしました。

また、茨城県議会が取り組む、県内4大学との連携協定における主権者教育について、全国都道府県議会議長会から評価を受け発表するよう依頼があり、石井邦一が茨城県議会を代表して全国都道府県議会議員研究交流大会の第1分科会でパネリストを務めました。

更に、石井邦一が茨城県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の会長として、本年度から森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議の役員にも選任され、役員会において2025年度の林野関係予算要請書をまとめ、関係国会議員や国の関係省庁などへ提出いたしました。

この様に、昨年も県内外において皆様方の代弁者として、山積する課題解決に向け全力で取り組んでまいりました。

今年は、茨城県の監査委員として2度目の辞令を大井川和彦知事から受けましたので、持続可能な地域づくりに向けて茨城県の山積する課題の解決に、皆様方の代弁者として全力で取り組んで参ります。

今後も、議長職の経験を活かして引き続き「県北地域の発展なくして茨城県の発展なし」の精神のもとで、県民の皆様との絆を大切に、愛で溢れる美しく活力ある郷土づくりに全力で取り組んで参りますので、今年も県政に対する様々なご意見をお寄せくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

11月9日

サイクリング王国茨城を目指しいばらき自民党スポーツ健康推進議員連盟において霞ヶ浦で船に自転車を載せて「サイクリングとクルージング」を組み合わせ魅力あるスポットを巡る「サイクルーズ」の現地調査を行い意見交換いたしました。



11月10日

常陸太田市で開催された第8回久米の郷ふれあい文化祭りに伺い地域振興について意見交換いたしました。



11月16日

茨城県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の会長としてグリーンフェスティバル2024で豊かな森づくりや県産木材の利用促進について意見交換すると共にミニ上棟式で撒き餅を行いました。

11月30日

常陸太田市市政執行70周年・合併20周年記念花火大会が開催され7020発の花火が打ち上げられ市議会議員の皆様方と地域振興などについて意見交換いたしました。



12月1日

JR水郡線の全線開通90周年を記念して臨時列車が運行され歓迎のお迎えをすると共に記念セレモニーにて持続可能な公共交通の重要性について意見交換いたしました。

12月16日

石井邦一が監査委員に就任  
第4回定例会最終日の本会議で茨城県監査委員に選任され本会議終了後に大井川知事から辞令を受けました。



## 茨城県議会議員 石井邦一事務所

# 石井邦一が委員長を務めた、 交通政策・物流問題調査特別委員会の提言

運転手の人手不足を背景にバスの減便や廃止が相次ぐなど、私たちの「移動の足」に関する問題が深刻化しています。また、いわゆる「2024年問題」などを背景として、物流の効率化などが課題となっています。そのような中、「公共交通及び物流に関する諸方策の在り方」について調査・検討を行うため、令和6年の第1回定例会で「交通政策・物流問題調査特別委員会」が設置されました。

本委員会では、県執行部からの説明聴取だけでなく、2回にわたる現地調査（JR水郡線や大子町A1乗合タクシー「たくまる」など）を実施するとともに、学生を含め、様々な分野からの有識者をお招きして意見交換を行いながら、県に対する全56項目の提言を打ち出しました。また、国に対しては、「公共交通及び物流に関する対策の充実・強化を求める意見書」を発議し、国による対応が必要な事項についても要望を行いました。人口減少や高齢化の進展といった課題を抱える県北地域にあっても、公共交通と物流のシステムを持続可能なものとするよう、国・県・市町村の連携の下、昨年90周年を迎えた水郡線の活性化なども含め、提言を踏まえた取組にこれからも力を尽くしてまいります。

## 1.公共交通関係

- バス事業者に対する地域間幹線系統の補助金の満額補助の実現
- 接続関係にある鉄道・バスの運行ダイヤの利用者本位の編成
- 死亡事故が発生するなど構造的に課題のある踏切への安全対策
- 持続可能な水郡線の振興のための県境を越えた連携強化
- 湊線の延伸実現に向けた県としての支援の検討
- DXの視点に立った交通事業者に対する支援の強化
- 自家用有償旅客運送におけるエリアや実施時間帯の適切な設定
- 九州MaaSなどを参考とした、より広域的なワンストップ移動サービスの枠組み構築に向けた検討
- 外国人材の運転手であっても県民が不安なく公共交通を利用できるようにするための対策
- タクシーの運転に必要な第二種免許制度の抜本的な改正など、今の時代に求められる在り方の検討
- 免許を自主返納した高齢者の目線に立った公共交通の環境整備
- 幼少期からバスの魅力を感じてもらえる取組の充実



## 2.物流関係

- 物流業界における価格転嫁のさらなる円滑化に向けた取組
- 地域において再配達削減に向けた消費者のインセンティブを高めるための取組
- 建物における配送の上下移動に配慮した環境整備や意識醸成
- 物流における自動運転やドローンの活用に向けた動きの加速化
- モーダルシフトの実現に向けた、関係者による重要性の認識
- 港湾において取扱貨物量を増加させるためのハード面の整備
- 高速道路が通行不能となった場合に備えた代替性の機能強化
- 農業大県である本県農産物の物流を維持するための施策の展開



第4回定例会最終日に本会議で委員会の調査結果報告を行う



# 多様な人材が輝く議会づくりの提言

全国都道府県議長会

「多様な人材が輝く議会のための懇談会」の副座長として、令和5年12月から令和6年2月にわたって、意見交換や議論等を重ね、令和6年3月に、女性や若者など多様な人材の地方議会への参画に向けて「17の提言」を取りまとめました。私からは、以下の①～④などについて意見を述べ、提言に反映させていただきました。

- ①人口減少が急速に進行する中で地方が持続的に発展していくためには、人口割だけでなく、面積割で議員の定数を考えるなど、人口の少ない過疎地域の住民の声を含めた多様な地域の声が議会に届くような定数のあり方の検討が求められること。
- ②高齢化や過疎化が進行し、移動に困難を抱える住民の方々がいるため、投票率の向上を図るためにも、誰もが困難なく投票できる環境を整備していく必要があること。
- ③議会としてハラスメントを根絶することにより、女性や若者など多様な人材が参画しやすい環境を整備していく必要があること。
- ④議員となった後の生活面の不安や、小規模市町村における議員の処遇などが立候補を妨げる要因となっているため、地方議会議員の厚生年金加入など、社会保障制度の整備について国が検討していく必要があること。

## 多様な人材が輝く議会のための懇談会 委員（令和6年3月15日）

- ◆座長 岡田 理絵（徳島県議会議員、前徳島県議会議長、前全国都道府県議会議長会副会長）
- ◆副座長 石井 邦一（茨城県議会議員、前茨城県議会議長、前全国都道府県議会議長会地方自治委員長）、佐藤 良（栃木県議会議長）
- ◆委員 鈴木 健太（秋田県議会副議長）、岡田 静佳（埼玉県議会副議長）、杉本 熊野（三重県議会副議長）、奥野 詠子（富山県議会副議長）、徳安 淳子（兵庫県議会副議長）、緒方 直之（広島県議会副議長）、佐々木 允（福岡県議会副議長）

## 多様な人材が輝く議会のための17の提言

### 1.多様な方々に議会・議員への関心・意欲を持っていただくために

- ・主権者教育の推進 提言1～3
- ・広聴・広報の充実による住民とのコミュニケーションの確保 提言4～5
- ・開かれた議会の実現 提言6

### 2.多様な人材が立候補しやすくするために

- ・立候補するためのハードルを下げる方策 提言7～9
- ・議員として、そして退職後も安心して生活できる保障制度 提言10

### 3.多様な人材が働きやすい議会にするために

- ・議会のデジタル化の推進 提言11
- ・育児・介護等と議員活動の両立支援 提言12
- ・ハラスメント防止対策の実施 提言13
- ・議員同士の交流 提言14

### 4.その他

- ・少子高齢化や人口減少などを踏まえた取組の継続、だれもが投票しやすい環境の実現など 提言15～17



「多様な人材が輝く議会のための17の提言」の内容が、多様な人材が活躍する議会の実現に向けた取組として、全国都道府県議会議長会を中心として推進されていくよう、私も全力を尽くしてまいります。

# 全国都道府県議会議長会について

令和6年11月12日

都道府県議会で共通する政策課題等についての情報交換や、議会機能の充実などを目的として、全国都道府県議会議長会が主催する「第24回都道府県議会議員研究交流大会」が、令和6年11月12日(火)、東京都のベルサール半蔵門で、全国の地方議員など約400名が出席し、盛大に開催されました。

私は、「議会が主体的に行う主権者教育の推進」をテーマとした第1分科会のパネリストとして登壇しました。コーディネーターには、玉川大学教育学部教育学科教授の樋口雅夫教授、パネリストは、私のほか、山形県議会副議長の矢吹栄修氏、慶應義塾大学大学院学生の本原笑壽氏、蒲生杏奈氏が登壇しました。

樋口教授からは、主権者意識を高めるためには、学校での学習に加え、議会などとの連携・協働を通じて、社会に主体的に参画できる力や、主権者としての資質・能力を確実に身に付けられるようにしていくのがポイントであるとの話がありました。そのうえで、各パネリストから、それぞれの立場での取り組みなどの発言を行いました。



私からは、茨城県議会における主権者教育の取り組みとして、特に力を入れている「大学との連携」を中心に、私が議長時代に実施した、茨城キリスト教大学での議長講演や、常磐大学シンポジウムへの登壇、休日議会での大学生や高校生との意見交換など、また、今年、私が委員長を務める「交通政策・物流問題調査特別委員会」で実施した大学生からの意見発表といった、若者に議会や政治についての学びを深めてもらうための取り組みについて説明しました。

また、矢吹副議長からは、山形県議会における主権者教育の取り組みとして、学生との意見交換会の開催や、大学生と連携した若者向け議会広報紙の作成などが紹介されました。

原田氏、蒲生氏からは、若者の当事者の目線から、若者の主権者意識を高めるためには、議員と学生がコミュニケーションをとれる機会があるとよい、政策立案をするための勉強ができることよい、などの意見が出されました。

聴衆の皆様との間での活発な質疑も行われ、大変有意義な大会となったものと思います。

これからの予測困難な時代、将来の地方自治を担う子どもたちを育てるためにも、主権者教育は非常に重要であると考えます。私としては、これからも、若者に議会についての関心を高め、理解を深めてもらうための取り組みを積極的に行ってまいります。



# 林活議連全国連絡会議の提言

令和6年11月13日

## 森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議 令和7年度林野関係予算に関する要請

### 概要

本県をはじめ、各都道府県の「森林・林業・林産業活性化促進議員連盟」が加盟する「森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議」において、国の令和7年度林野関係予算に関する要請を関係国会議員及び林野庁長官等へ行いました。要請にあたり、令和6年11月13日に都内で役員会が開催され、本県議員連盟の会長である石井邦一が全国連絡会議の役員(幹事)として出席し、要請書の案を審議いたしました。



### 背景

森林資源の循環利用の確立に向け、林道等のインフラ整備、機械化、林業担い手対策等を推進し、2025年カーボンニュートラルの実現や森林整備・治山対策といった国土強靱化、地方創生や循環型社会の形成、さらには花粉症対策にも資するよう、森林・林業・木材産業施策の総合的かつ計画的な推進に向け、次の事項の実現を強く要望する。

### 要請項目

- 1 持続的な林業経営の確立、国産材の安定的・持続的供給体制の強化、木材需要の拡大
- 2 森林の経営管理の集積・集約化の推進
- 3 森林資源の循環利用や国土強靱化に向けた森林整備・治山対策の加速
- 4 林業・木材産業の担い手の育成・確保
- 5 花粉発生源対策の推進
- 6 スマート林業等の推進
- 7 山村の活性化



# 主な日々の活動について

1月22日~1月24日

いばらき自民党スポーツ健康振興議員連盟サイクリング部会において台湾を訪れ旧草嶺環状自転車道を試走し調査を行い大東北角観光圏の関係者と意見交換いたしました。更に茨城と台北を就航するタイガーエア台湾本社を訪れ陳董事長と増便やサイクルツーリズムなど茨城空港の展望について意見交換いたしました。



【茨城県と台湾の関係】茨城のつくば霞ヶ浦リンロードと台湾の東北角旧草嶺環状自転車道は相互のサイクルツーリズムを推進していくことを目的に茨城県と台湾の大東北角観光圏が観光友好交流協定を2023年締結されました。

令和5年度 那珂川「森林と水」こだわり交流会



2月5日

茨城・栃木両県議会の森林・林業・林産業活性化促進議員連盟(茨城県議会は石井邦一が議長)において令和5年度那珂川「森林と水」こだわり交流会が栃木県で開催され「森林資源の循環利用による林業木材産業の成長産業化」などについて意見交換すると共に栃木県林業大学を視察し有意義な交流会を行いました。

2月8日~2月13日

茨城県と友好提携都市であるイタリアのエミリア・ロマーニャ州を訪れ県産品や観光などのPR・更に文化や経済などの交流の可能性について、いばらき自民党調査団で過酷な行程ではありましたが、大井川知事や経済界・関係団体の皆様と共に調査活動を行いました。  
調査活動においては、ボローニャ大学アジア研究所学生やエミリア・ロマーニャ州知事と意見交換すると共に、PDO(原産地呼称保護制度)認証制度や州認定の地域ワイン協会の概要などについて調査を行いました。



祝 芦野倉ひくぞー会 茨城県功績者表彰 祝賀会



2月18日

大子町の地域ボランティア団体の芦野倉ひくぞー会が茨城県功績者表彰を授章し祝賀会が開催され皆様と持続可能な地域づくりについて意見交換いたしました。

5月19日

常陸国よさこい祭りにおいて衆議院議員梶山弘志代議士や参議院議員上月良祐先生などと地域振興策について意見交換いたしました。



8月22日

永野雄大選手祝勝会!  
パリオリンピックのフェンシング競技男子フルーレ団体で見事金メダリストに輝いた水戸市出身の永野雄大選手の祝勝会に出席してスポーツ振興の重要性などについて皆様と意見交換いたしました。



9月29日

全国的に自然災害が激甚化・頻発化する中で消防団の士気高揚と団員相互の絆を深め地域防災力向上を図る第75回茨城県消防ポンプ操作大会茨城地区大会が開催され伺い地域防災について意見交換いたしました。



10月20日

「育てよう・幸せ芽吹く・緑の大地」を大会テーマとして福井県で開催された第47回全国育樹祭へ茨城県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の会長並び茨城県森林・林業協会の理事長として関係者と共に参加し豊かな森づくりの重要性などについて意見交換いたしました。



10月30日

常陸太田市戦没者追悼式が厳粛に挙行され出席し戦没者の御霊に対し追悼の辞と献花を捧げ関係者と平和の尊さなどについて意見交換いたしました。



11月1日

石井邦一が所属する総務企画委員会で東北の高萩市・北茨城市に伺い常陸国ロングトレイル事業の新規区間の「十石掘ルート」や小山ダムを臨むキャンプ施設の概要について現地調査を行いました。



10月31日

常陸太田のおそば屋さんの会が主催する新蕎麦チャリティーフェアが開催されひと足先に常陸秋蕎麦の新蕎麦を堪能させていただき常陸秋蕎麦の振興策について意見交換いたしました。



11月3日

常陸太田市において第37回里美かかし祭り並びさとみ秋の味覚祭が開催され伺い地域振興について意見交換いたしました。



11月3日

大子町において第40回佐原地区産業文化祭が開催され伺い地域振興について意見交換いたしました。



11月8日

令和6年度第2回犯罪被害者等支援施策検討委員会が開かれ出席し重点施策の中間報告やアンケート調査結果などについて伺い意見交換いたしました。



11月9日

常陸太田市町屋で開催された第17回行灯の赤レンガと銀杏まつりに伺い皆さんと地域振興について意見交換いたしました。